

I 災害の概況と対策

1 概況

令和2年は7月3日～11日にかけての梅雨前線豪雨、6月4日～5日にかけての梅雨前線豪雨など、19回の異常気象により災害が発生した。

国土交通省所管公共土木施設災害の査定決定額は、県工事で516箇所11,527,516千円、市町村工事で457箇所7,617,433千円、合計で973箇所19,144,949千円であった。

異常気象別では、7月3日～11日にかけての梅雨前線豪雨の被害が最も大きく790件、13,351,989千円で全体査定決定額の約70%であった。次が6月4日～5日にかけての梅雨前線豪雨で820,355千円(4.3%)、7月24日～26日にかけての梅雨前線豪雨で680,238千円(3.6%)であった。

これら3つの異常気象の査定決定額合計が全体の約78%を占めた。

「5月15日から7月31日までの豪雨」による災害については、激甚災害に指定され、2市2町2村が国庫負担の嵩上げ措置の実施対象となった。

また、「9月3日から9月7日までの暴風雨」による災害については、局地激甚災害に指定され、1町が国庫負担の嵩上げ措置の実施対象となった。

指定された市町村は次のとおり。

本激 令和2年5月15日～7月31日
曾於市・志布志市・十島村・長島町・大崎町・大和村

局激 令和2年9月3日～9月7日
屋久島町（港湾災）

2 災害対策の促進

(1) 災害復旧事業

災害復旧事業は3か年で全箇所の復旧工事を完了するように予算措置が講じられるものであり、令和4年1月31日時点で復旧進捗は決定箇所数において75.1%の718箇所となっている。

(2) 河川等災害関連事業

災害復旧に当たり，改良費を加え未災箇所も含めて改良復旧を行うことにより事業の効果をより大きくするための事業である。

令和2年は，7月3日から7月11日までの豪雨（梅雨前線豪雨）による災害で2市の河川事業が採択された。

採択された市は以下のとおり。

災害関連事業 令和2年7月3日～7月11日
薩摩川内市（百次川・勝目川）
伊佐市（山野川）